

2024年12月4日

繊維系3学会合併協議に関する公聴会の開催

会員の皆様には、日頃より繊維学会の運営と活動におきまして、種々ご高配とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、(一社) 繊維学会、(一社) 日本繊維機械学会、(一社) 日本繊維製品消費科学会との間の三学会統合に関しまして、当初の理事会案は2022年9月3日の臨時総会において否決となりました。その後、前期理事会におきまして、アンケートを含め否決に至った経緯やその後の課題状況等を精査し、三学会統合には検討すべき課題があるものの繊維学会の将来のあるべき姿を実現しうる重要な方策の一つであるとの認識に至り、統合に向けての検討を再開することとなりました。これを受けて、三学会合併に関する協議会(以降、協議会)を立上げ、本年4月よりWGにて検討を重ねてまいりました。これまでの経緯につきましては、2023年12月会長メッセージ、学会HP「[繊維系三学会の合併の検討について](https://www.fiber.or.jp/jpn/overview/consolidation.html)」(<https://www.fiber.or.jp/jpn/overview/consolidation.html>) ページも合わせて参照いただければ幸いです。

このたび、協議会として各WG 答申をもとに第一次合併協議案をとりまとめております。本案は、合併した場合の新学会のあり方について、メリット・デメリットを含めて各学会で議論するためのたたき台と位置付けています。よって、繊維学会の理事会として承認した案ではなく、今後、これをもとに、繊維学会として、問題点やさらに検討すべき課題などを議論し、新学会としての方向性をより良いものにしていくための検討を進めます。それを協議会へフィードバックし、最終的に可否判断を問う合併案を作成していくこととなります。なお、フィードバックを行ったからといって合併を承認したということでないことを申し添えます。具体的に、最終案がまとまりましたら、前回と同様な手続き(理事会→総会附議)となります。

まずは、第一次合併協議案に関しまして、会員公聴会や理事会での検討を進め、また、支部・研究委員会、法人企業、若手メンバーなどとの直接対話も計画して参ります。是非とも、忌憚のないご意見をいただけますと幸いです。なお、協議会よりの提案となりますが、繊維学会会長としては皆様と一緒に課題や改善案について相談させていただく所存です。もちろん、協議会での議論を踏まえて補足説明はさせていただきます。その際、繊維学会の活動が如何に継続、発展させられるかという視点に加えて、次世代の学会としてどうあるべきかという視点も加えていただければと思っています。前回の合併協議では、現行学会の活動が新たなプラットフォームの中で如何に継続、担保されるかという観点からスタートしましたが、今回はステージを上げて、「合併した1学会としてどうあるべきか」という観点をも加味して検討いただきたいと思います。

公聴会や支部等懇談会の予定につきましては、決まり次第、順次ご案内させていただきます。何とぞご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

繊維学会会長
辻井敬亘